

能登半島地震 災害義援金の取り組み

2月18日（日）、区社協も入っているてくのかわさきで「2024 てくのまつり」が開催され、まつりの中で行われたチャリティ販売の売り上げ37,100円を能登半島地震で被災された方々を支援するため、高津区社会福祉協議会に義援金として寄付してくださいました。



川崎市生活文化会館（てくのかわさき）の石井秀典館長から、義援金37,100円を受け取る高津区社会福祉協議会小山事務局長

皆様の暖かいご支援

ありがとうございます

「てくのまつり」は、市内最高峰の匠こと「かわさきマイスター」や、同館を利用する団体の作品展示や実演、体験が楽しめるほか、友禅染めや食品サンプル作りから川崎フロンターレキックターゲット、川崎の歌姫・桜井純恵さんによるコンサートや着付けの実演など、大人も子どもも楽しめる充実した内容になっている。また「溝ノロカレー」などの飲食販売もあり、楽しめる1日となっている。

令和6年1月に発生した能登地方を震源とする地震で被災された方々を支援するため、高津区社会福祉協議会では義援金を受け付けます。

※お預かりした義援金は、中央共同募金会を通じて被災県の災害義援金配分委員会により配分基準等を決定し、市町を通じて被災者の皆様にお届けします。

（募金箱は高津区社協事務所にあります）